



第2回国際サマースクールの開催について（お知らせ）

開催概要：インドネシア・タイの大学院生を迎えサマースクール開催

～北海道からアジアのエネルギー問題を考える～

北海道大学（以下、「北大」）は、インドネシア・タイのトップクラス大学6校と協力して、8月28日（木）から9月11日（木）までの15日間、第2回「PAREプログラム」サマースクールを開講します。日本のエネルギー政策と北海道の現状について理解を深めつつ、仲間との議論と生活を通じて、アジアのリーダーとして活躍する上で必要な力を養うことを目標に、47名の学生が参加します。

開催趣旨：

「PAREプログラム」（ペアー・プログラム）は、ASEAN諸国等との大学間交流を支援する文部科学省の平成24年度事業「大学の世界展開力強化事業」に採択された教育プログラムです。北大並びにタイの3大学とインドネシアの3大学が大学院教育コンソーシアムを形成し、アジアの発展に主導的な役割を担う人材の育成を協働で行うことを目的としています。同時に、ASEANの大学との、より柔軟かつ体系的な教育システムを、平成29年までに構築することを目指しています。

北大はこれまでも、海外の大学との間で様々な協働教育プログラムを実施してきましたが、PAREプログラムのように、工学、農学、水産科学、環境科学、情報科学といった異なる学問的バックグラウンドを持った学生に対する教育を、アジアを牽引している7つの研究大学が協力して、体系的に教育する取り組みは初めてです。

サマースクールの概要：

本サマースクールは、テーマに関する基調講義と2種類（全体、分野別）のフィールドワークから構成されており、「PAREプログラム」が提供する100以上の科目において最も重要な科目に位置づけられます。参加学生は、テーマに関する基調講義を受講したのち、国、大学、そして学問的バックグラウンドが異なる仲間5～6人でグループをつくり、各グループで設定した課題に取り組みます。

今回のサマースクールは、昨年度に続き2回目の開講となります。前回は「地域の強靱性」をテーマに、道北へのフィールドワークを行いました。今回は「持続可能なエネルギー（Sustainable Energy）」をテーマとし、道央及び道南へのフィールドワークを行います。北海道は、その広大な土地と、太陽光や風力、地熱、バイオマスなど多様なエネルギー源の宝庫であるだけでなく、石炭、石油、天然ガス等の既存エネルギー施設も多いことから、短期間で様々な施設を効率的に視察することができます。学生全員が参加する前半のフィールドワークでは、既存エネルギーの効率的な利用と新しいエネルギーの両方を学ぶため、石炭、石油、天然ガス、太陽エネルギー、風力、水力、地熱、バイオマス、海洋エネルギー、CCS（二酸化炭素回収・隔離）など、道内の多様なエネルギー関連施設を視察します。後半、グループのメンバーは5つの専門分野に分かれ、本学の各大学院で、より専門

的なデータ収集や実験を行います。この2種類のフィールドワークを通じて、事前に設定した課題について、グループで1つの結論を導き出します。そして最終日の報告会では、学生は、7大学の教員及び参加者全員の前で、学習の成果を報告します。

開講式は8月28日(木)13時から、閉校式は9月11日(木)15時30分から、いずれも情報教育館3階多目的中講義室にて行う予定です。

(※) PAREについて

「PARE」とは、Population(人口)、Activity(人間の活動)、Resource(天然資源)、Environment(環境)という頭文字を取ったもの。

PAREプログラムでは、この4つの要素に関連した問題を解決し、アジアの発展に主導的な役割を果たすことのできる人材を輩出することを目的としている。PAREプログラムに参加する学生は、今回のサマースクールやプログラム参加大学が提供する科目の履修を通じて、4つの力(フィールド研究力、多様性容認力、開拓力、課題解決力)を養う。

参加大学:

北海道大学(農学研究院, 水産科学研究院, 工学研究院, 地球環境科学研究院, 情報科学研究科, サステナビリティ学教育センター(GENSUS))(日本), チュラロンコン大学(タイ), カセサート大学(タイ), タマサート大学(タイ), ガジャマダ大学(インドネシア), バンドン工科大学(インドネシア), ボゴール農科大学(インドネシア)

日 程: 2014年8月28日(木)13時 ~ 9月11日(木)19時30分

場 所: 別紙のスケジュールを参照

主 催: 北海道大学

参 加 者: インドネシア3大学の学生19人(内ケニア国籍1人), タイ3大学の学生21人(内ネパール, ベトナム国籍各1人), 北海道大学の学生7人(内留学生1人)

言 語: 英語(同時通訳あり)

別 紙: スケジュール

参考情報:

* 平成24年度「大学の世界展開力強化事業~ASEAN 諸国等との大学間交流形成支援~」の採択事業の決定について

文部科学省による事業概要の説明が記載されています。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/09/1326071.htm

* 平成24年度 大学の世界展開力強化事業 採択事業一覧

北海道大学の構想概要, 構想調書が掲載されており, ダウンロードできます。

http://www.jsps.go.jp/j-tenkai ryoku/h24_kekka_saitaku.html

お問い合わせ先

北海道大学国際本部内 PAREプログラム センtralオフィス

TEL: 011-706-8013/8014 FAX: 011-706-8036 E-mail: goo@oia.hokudai.ac.jp

平成26年PAREサマースクール(研修期間:平成26年8月28日(木)～9月11日(木))

日付	時刻	研修内容/場所	講師、連絡窓口等		
			氏名	所属先および職位	
8/28(木)	13:00 - 14:00	開校式	情報教育館3F 多目的中講義室	上田一郎	北海道大学理事・副学長
	14:00 - 15:30	オリエンテーション	情報教育館3F 多目的中講義室	池辺将之	北海道大学情報科学研究科准教授
	15:30 - 17:00	【講義】日本のエネルギー政策と北海道のエネルギーの現状	情報教育館3F 多目的中講義室		北海道経済産業局エネルギー環境環境資源部
	17:30 - 19:30	歓迎会	北部食堂		
8/29(金)	8:30 - 10:30	苫小牧市役所		岩倉博文	苫小牧市長 (冒頭挨拶)
	11:15 - 12:15	石油備蓄基地			
	14:30 - 16:00	苫東火力発電所			
	17:30 - 19:00	グループディスカッション	国際本部大講義室		
8/30(土)	8:45 - 10:15	【講義】人と環境にやさしいクリーン情報システム	国際本部大講義室	宮永喜一	北海道大学情報科学研究科教授
	10:30 - 12:00	【講義】日本および本学における省エネルギー	国際本部大講義室	沖野龍文	北海道大学地球環境科学院准教授
	14:00 - 15:30	次世代エネルギーパーク	円山動物園		
8/31(日)	8:45 - 10:15	【講義】日本の草地の堆肥施与は温室効果ガス排出を改善	国際本部大講義室	波多野隆介	北海道大学農学研究院教授
	10:30 - 12:00	【講義】バイオエネルギーに関する講義	国際本部大講義室	Seksom Attamangkune	カセサート大学農学研究院長
9/1(月)	9:30 - 11:30	石狩LNG			
	11:30 - 12:00	市民風車			
	12:30 - 14:30	石狩市役所			
	15:30 - 17:00	町村農場(バイオガスプラント)			
9/2(火)	10:30 - 11:30	JAとうや湖 雪蔵貯蔵施設			
	14:00 - 15:30	虻田水力発電所			
	16:00 - 18:00	【講義】地熱に関する講義	虻田ふれあいセンター	Agung Harijoko	ガジャマダ大学工学研究院准教授
9/3(水)	8:30 - 9:30	森役場(概要説明)		梶谷恵造	森町町長 (冒頭挨拶)
	10:00 - 10:55	森地熱発電所			
	11:00 - 11:40	熱交換施設・ハウス			
	12:10 - 12:40	集出荷施設			
	14:00 - 17:00	函館国際水産・海洋総合研究センター			
9/4(木)	8:45 - 10:15	【講義】自然エネルギーを用いたバイオファームিং		木村暢夫	北海道大学水産科学研究院教授
	10:30 - 12:00	【講義】水力および風力エネルギーの展開		村井祐一	北海道大学工学研究院教授
	13:00 - 14:00	中間プレゼンテーション準備			
	15:00 - 18:00	中間プレゼンテーション		都木靖明	北海道大学水産科学研究院教授
9/5(金)～9日(火)		各大学院でのフィールド/ラボワーク			
9/10(水)		最終プレゼンテーション準備	国際本部大講義室		
9/11(木)	9:30 - 15:00	最終プレゼンテーション	情報教育館3F多目的中講義室	五十嵐敏文	北海道大学工学研究院教授
	15:30 - 17:00	開校式(修了証授与式)	情報教育館3F多目的中講義室	上田一郎	北海道大学理事・副学長
	17:30 - 19:00	送迎会	北部食堂		